

ピアノ:海老彰子
Piano: Akiko Ebi

トランペット:
アンドレ・アンリ
Trumpet: André Henry

及川光悦 指揮
Mitsuyoshi Oikawa
Conductor

International Music Festival

第34回 国際親善交流特別演奏会

34th

2021.11.16(火) 東京芸術劇場コンサートホール(池袋西1口)
開演18:30(開場18:00) 全席指定 ⑤:¥6,000 ④:¥5,000 ③:¥4,000

東京都豊島区西池袋1丁目8-1 Tel. 03-5391-2111(代) 6:30 p.m. TUESDAY, NOVEMBER 16, 2021, AT TOKYO METROPOLITAN THEATRE

Program

ハイドン作曲: トランペット協奏曲 変ホ長調 Hob.VIc-1
トランペット: アンドレ・アンリ
HAYDN: TRUMPET CONCERTO IN E FLAT MAJOR, Hob. VIc-1 ——— Trumpet: André Henry

ブラームス作曲: ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品83
ピアノ: 海老彰子
BRAHMS: PIANO CONCERTO No. 2 IN B FLAT MAJOR, Op. 83 ——— Piano: Akiko Ebi

休憩

ドヴォルザーク作曲: 交響曲 第7番 ニ短調 作品70
DVORAK: SYMPHONY No. 7 IN D MINOR, Op. 70

演奏: モーツァルト・ヴィルトゥオーゾ祝祭管弦楽団 Mozart Virtuoso Festival Orchestra

お問い合わせ・チケット申し込み 日本音楽文化交流協会 TEL / FAX 03-3442-2325

Photo: 猪股政明

主催: 国際親善交流特別演奏会実行委員会 日本音楽文化交流協会 日本・ポーランド協会 TEL / FAX 03-3442-2325

後援: 文化庁・厚生労働省・国際交流基金・日本赤十字社・ポーランド共和国大使館・ポーランド広報文化センター・ルーマニア大使館・朝日新聞社

特別協賛: meiji 株式会社 明治

協賛: 三菱電機株式会社

協力: サッポロビール株式会社・メルシャン株式会社

※出演者・曲目等が変更される場合がありますのであらかじめご承知おき下さい。
※障害者、養護施設、母子家庭、大震災避難者、医療従事者の方々を御招待致します。
※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

※本公演は、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインにそって、実施を致します。※体調不良の際は、ご来場をお控え下さい。※ご来場、ご鑑賞時等ホール内では必ずマスクをご着用下さい。

International Music Festival 4th

第34回 国際親善交流特別演奏会

及川光悦 指揮 CONDUCTOR: Mitsuyoshi Oikawa



1949年、北海道に生まれる。5歳よりピアノを学び、10歳の時、テレビ出演を機会に音楽家を志す。1967年、東京音楽大学器楽科、桐朋学園指揮教室入学。1975年8月、フランス・ニース国立音楽院主催国際指揮講習会を受け好評を博す。1975年10月、研究科在学中に推薦されパリ留学。エコール・ノルマル音楽院にてピエール・デルポー氏に師事、スカラ・カントルム音楽院指揮科・ピアノ科入学。1976年、ザルツブルグ・モーツァルト音楽院主催の国際指揮講習会を受けオトマル・スイトナー氏に師事、大いに才能を認められる。1977年帰国、故岩城宏之氏に認められ札幌交響楽団において研鑽、数多くの演奏会に出演する。1978年、小澤征爾氏に師事。

同年「札幌市芸術文化振興基金第1号」を受けアメリカ留学、小澤征爾氏のもとで研鑽を積み、

1982年、「芸術家在外研修員」として文化庁によりミュンヘンへ派遣される。受入れ先であるクーベリックのバイエルン放送交響楽団、

チェレビダッケのミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ザパリッシュのバイエルン国立歌劇場管弦楽団にて各氏に師事、伝統的なドイツ音楽

を吸収する。又ベルリン・フィル、ミラノスカラ座、パリオペラ座、バイロイト音楽祭、ベローナ音楽祭、ザルツブルグ音楽祭のリハーサル・本番・レコーディングに立ち会い研鑽を

積む。1983年8月帰国、ただちに東響でデビュー、都響、札幌、京響、新星日響、群響、神奈川フィルで共演、放送・レコーディングで活躍。1986年7月、日中文化交流の

一端として中国から招待され、中国電影楽団、上海楽団と共演、交響組曲「東京」～「こもりうた・外山雄三作曲」の海外初演をはたし熱烈な歓迎を受ける。帰国後、日本テレビ

「11・PM」、FM東京「世界の音楽をあなたに」出演、中国音楽界を紹介する。1987年9月・10月、前年に引き続き中国より招待され、日本政府（外務省）・国際交流基金の

援助のもとで中国電影楽団、上海電影楽団と共演して絶賛を博し、両楽団より「常任客演指揮者」の称号を贈られ両国の文化交流に大きな役割を果たす。帰国後、FM東京

「音楽の森」出演。1988年9月、中国電影楽団、上海電影楽団日中平和友好締結10周年記念・常任客演指揮者就任記念として、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもと

「文化使節」として公演し好評を博す。FM東京「モーニングジャーナル」・FMジャパン「Jウェーブキャットフィッシュ」出演。1990年6月、チェコ・スロバキア（ズリーン）

マルティスフィルハーモニー管弦楽団にてヨーロッパ楽壇デビュー、11月、中国（北京）中国電影楽団にて故園田高弘氏と演奏会開催。12月、ソ連「チャイコフスキー交響楽団

（旧モスクワ放送交響楽団）」、ウクライナ国立フィルハーモニーオーケストラ（キエフ）、ヤロスラブリ フィルハーモニーオーケストラにて演奏会開催。1992年9月、中国（北京）

中国電影楽団にて日中国交正常化20周年記念特別演奏会を開催。10月、日本政府（外務省）・国際交流基金・ポーランド政府文化芸術省の援助のもとでポーランド・カトビツェ

国立交響楽団と演奏会開催。1993年3月、現在世界で屈指のヴィルトゥオーゾ集団である「ロシア・ナショナル管弦楽団」にてロシアピアノ界の巨匠であるニコライ・ペトロフ氏

と共演、ウリヤノフスク国立交響楽団と演奏会開催好評を博し日本・ロシアの文化交流に尽力。12月、ハンガリー文化教育部の後援のもとでフランス・リスト音楽院大ホールにて

サント・ステファン交響楽団と共演。

1994年10月、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで前年に引き続きハンガリー・サント・ステファン交響楽団と共演。ルーマニア文化省の後援のもとでヨーロッパの

中でも長い伝統を誇る名門オーケストラ「ジョルジュ・エネスク・フィルハーモニー管弦楽団」と共演し、日本・ハンガリー・ルーマニアの文化交流、両国音楽家間の親善に大きく寄与。

1996年2月、ハンガリー・ドナウシンフォニックオーケストラと共演。1997年2月、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとでハンガリー・ソルノク シンフォニックオーケストラ、

3月、ロシア名門オーケストラである「モスクワ・フィルハーモニー交響楽団」と共演し好評を博す。10月、名門オーケストラである「ブルガリア国立ソフィア交響楽団」と共演。

帰国後テレビ朝日「徹子の部屋」に出演。1998年4月、ポーランド・アルトゥール・ルービンシュタイン・フィルハーモニックオーケストラと共演。1999年10月、日本・ブルガリア

文化月間10周年記念・国交回復40周年記念公演に招聘され「文化使節」として名門オーケストラである「ブルガリア国立放送交響楽団」と共演。2000年、「文化庁舞台芸術

創作奨励賞選考委員」就任。

2001年5月、名門オーケストラである「サント・ペテルブルグ交響楽団」（旧レニングラード交響楽団）と共演。2002年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団、ルーマニア

「コンスタンツァ交響楽団・ガラツ交響楽団」と共演し大成功を収める。2002年10月、日本・ブルガリア文化月間に招聘され、「文化使節」としてブルガリア国立ソフィア交響楽団

にてヴァイオリニストの天満敦子女史と共演。2004年4月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演、大成功を収め「常任客演指揮者」に就任。2005年5月、ブルガリア国立ソフィア

交響楽団と共演。2006年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。2009年11月、ブルガリア文化の発展と普及への功績に対して、ブルガリア共和国文化省より「名誉表彰状」

と「名誉章」を授与される。2010年10月、ポーランド・トルン交響楽団と共演、ベルギー（ブリュッセル）にてトルン交響楽団と共演。2011年10月、ポーランド（ビゴドシチ）

ボメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。ベルギー（ブリュッセル）にてポーランド EU 議長国就任記念コンサートに招聘されポーランド・ボメラニアン・パデレフスキー

国立交響楽団と共演。2013年1月～2月、豊島区制施行80周年記念に対して「感謝状」と「豊島区文化功労表彰」を授与される。10月～11月、社会福祉法人「東京都社会

福祉協議会」社会福祉法人「横浜市社会福祉協議会」より永きに亘る福祉活動により「感謝状」を授与。東欧音楽家支援20周年記念として札幌市から「感謝状」を授与する。

2014年7月、ルーマニア政府・トラヤン・バセスク大統領より「文化功績勲章」を受章。

2019年3月、ブルガリア・日本両国関係発展に対して、ブルガリア共和国政府・外務省より名誉表彰勲章「Golden Laurel Branch（金の月桂樹）」最高位を受賞。

2019年10月、ポーランド共和国文化国家遺産大臣より文化功労勲章「グロリア・アルティス」を受章。

アンドレ・アンリ André Henry / トランペット Trumpet



1969年フランス南部の小さな村に生まれ、12歳でトランペットを手にする。モーリス・アンドレのレコードを最初の「教師」として独学でトランペットを学ぶ。

ジャック・ジャルマツソンに出会い、アヴィニョン国立高等音楽院にてトランペットとホルンにおいて第1位を獲得。その後リヨン国立高等音楽院教授ピエール・デュトとの出会いを機に、次々とコンクール優勝者リストに名を連ねる。トゥーロン国際音楽コンクール、フィリップ・ジョーンズ国際コンクール、モーリス・アンドレ国際音楽コンクール等、権威ある国際コンクールで優勝や入賞を果たし、1996年にはジュネーブ国際音楽コンクールで優勝。V.Roncero、M.Stekart、A.Barbosa、I.Jevticなど多くの現代作曲家が作品を献呈。フランス文化省より音楽教授適性免許を取得。ナント国立音楽院とリヨン国立高等音楽院にて教鞭をとった。1993～2000年ロワール国立管弦楽団首席奏者、2001年～2010年中国管弦楽団客演首席奏者。1996年より、アンリはストンビ社トランペットを愛用。教育にも多くの情熱を注ぎ、パリ高等音楽院や国際トランペットギルド(ITG)をはじめ、世界各地でマスタークラスを開催。東京音楽大学客員教授、国立音楽大学非常勤講師、相愛大学音楽学部客員教授に就任、日本での活動の幅を更に広げている。

海老彰子 Akiko Ebi / ピアノ Piano



東京藝術大学1年松浦豊明クラス在学中に第41回日本音楽コンクール優勝。パリ国立高等音楽院でアルド・チッコリーニ氏に師事。ロン＝ティボ国際コンクールで2位グランプリ及びアルトゥール・ルービンシュタイン氏等から計4つの特別賞を受賞。1980年ショパン国際ピアノコンクール入賞、ホルド一金賞、日本ゴールドディスク大賞2回受賞(1993年&1995年)、日本ショパン協会賞、仏政府から文芸シュバリエ勲章、パリ名誉市民メダル、エクソン・モービル音楽本章等を受章。長年、日本をはじめ、欧州各国、南北アメリカ、中南米、露、中国、中近東、エジプト等世界36ヶ国以上で演奏家として活躍、各国からマスタークラス開催の依頼も多数。ワルシャワショパン国際ピアノコンクールを始め、第8回・第9回浜松国際ピアノコンクール審査委員長等国内外の主要国際音楽コンクール審査員。横浜市招待国際ピアノ演奏会実行委員長、日本ショパン協会会長を務める。元日本大学芸術学部大学院研究科ピアノ科教授、元東京芸術大学客員教授。世界の指揮者・演奏家から信望厚い。アルゲリッチ等と度々共演。